

- 調査対象 「あさがくナビ2023」へのサイト来訪者（大学生・大学院生）
- 調査方法 インターネット調査
- 有効回答数 525人
- 調査時期 2022年5月9日～30日

UIターンや地方で就職を希望する 大学生・大学院生は **39.2%**

コロナ禍で学生生活の大半を過ごした大学生は、就職に対してどのように考えているのか。

今回は、来春（2023年3月）卒業予定の学生を対象にした調査から、UIターンや地方での就職意向などについてみてみたい。

コロナ禍で地方での就職を意識

UIターンや地方での就職を希望する学生は39.2%で、2022年3月卒業予定者を対象にした昨年5月調査の47.4%に対し8.2ポイント減少したものの、依然として4割近くの学生が地方での就職を希望していることがわかった。

地方での就職を希望する学生に、新型コロナウイルスの影響について尋ねたところ、「より地方での就職を意識するようになった」（31.8%）、「どちらかと言うと地方での就職を希望するようになった」（51.1%）など、8割強の学生が影響を受けたと回答している。

家族と一緒に暮らしたい … **35.0%**

地方での就職を希望する理由では、「家族と一緒に暮らしたいと思うから」（35.0%）、「もともと卒業後は地元に戻ろうと思っていた」（33.5%）、「地元で貢献する

仕事をしたいと思ったから」（29.6%）が上位3位。

ちなみに、希望する勤務地は、「出身の都道府県」が72.8%ともっとも多くなっている。

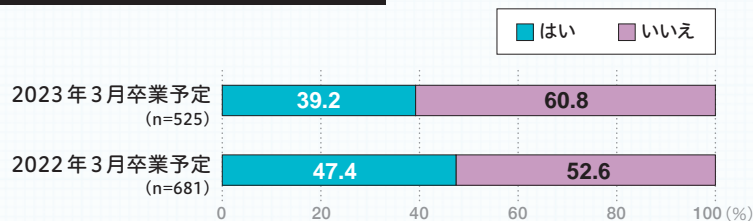
UIターンや地方での就職希望者が増えることで、東京一極集中の抑制や地方経済の活性化につな

がる可能性が指摘されている。

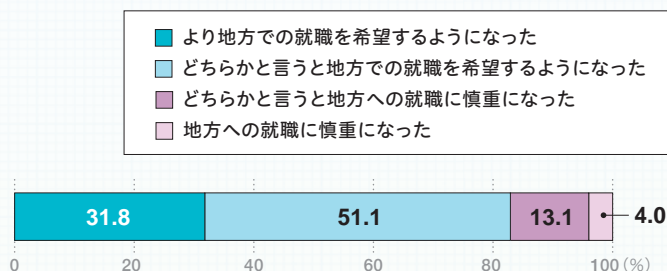
コロナ禍で、“働く場所”にとられない働き方が浸透するなか、これからの就活生にとって、地方がどんな位置づけになるのか気になるところである。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）

UIターンや地方での就職を希望するか



地方での就職について、新型コロナの流行により意識の変化はあったか (n=206)



UIターンや地方での就職を希望する理由 【複数回答（上位3位）】 (n=206)

